主催：内閣府　共催：和歌山県、橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町

避難生活支援
リーダー／サポーター研修
「災害関連死・ゼロ」を目指して

参加 無料 定員あり

近年、災害の多発や避難生活の長期化による**災害関連死**の増加がますます懸念されています。
災害関連死を防ぐためには、地域社会の多様な人々が連携し、互いに支え合うことが不可欠です。
本研修では、災害時の避難生活の環境向上に貢献できる地域の人材**「避難生活支援リーダー／サポーター」**としてご活躍いただくことを目指し、演習・グループワークを中心に、**避難生活の環境改善のための実践的な知識・ノウハウ**を学びます。





研修（避難所運営演習）

実践に役立つ

どなたでも参加可能

日　時	1日目：**令和8年12月12日（土）** 10:00～16:00 2日目：**令和8年12月13日（日）** 10:00～16:00
会　場	**和歌山県立橋本体育館 武道室**（橋本市北馬場455）駐車場あり
持ち物	研修テキスト、昼食、飲み物、筆記用具、バインダー（クリップボード）、屋内用運動靴、外靴入れ

プログラム

1日目	・多様な被災者の心情や状況の理解 ・避難生活の課題と生活環境の整備
2日目	・対人コミュニケーション ・避難所運営の担い手との連携・協働

▲研修の詳細内容については、研修紹介動画を御覧ください



この研修は、内閣府「避難生活支援・防災人材育成エコシステム」の構築に向けたモデル研修として実施するものです。

詳細は裏面へ

研修当日までに事前学習が必要です

研修テキスト

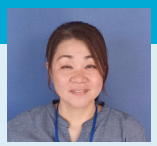
避難生活支援に必要な基礎知識や、過去の災害における課題と対応事例などをまとめたテキストをお送りします。事前にご一読ください。

オンデマンド動画

研修テキストの中でも、特に重要なポイントを解説した動画を、研修前にご視聴いただきます。
（1コマあたり約10～15分×５コマ）

お申し込み後、研修テキストとオンデマンド動画の情報をお送りします。

研修講師



浦野 愛 氏

レスキューストックヤード
常務理事

阪神・淡路大震災では、大学生のボランティアネットワークに所属し、被災者支援にあたる。卒業後、特別養護老人ホームデイサービスセンターで介護職として勤務し、レスキューストックヤードの設立と同時に事務局スタッフとなる。2004年より事務局長、2009年より常務理事を務める。避難所運営支援や災害時要配慮者への支援事業を中心に、災害ボランティア等、各種講演会・講座講師、支援プログラムの企画・運営を行っている。令和6年能登半島地震では石川県穴水町の長期支援に関わる。社会福祉士。



中野 篤 氏

日本防災士機構
監理課長

防災士制度の創設準備から事務局として携わり、2002年日本防災士機構設立後は、防災士教本編纂や防災士養成研修機関の育成、資格試験や資格認証の業務、防災士養成講師、防災士ハンドブック編纂など、制度全般の運営管理や普及活動に従事。また、東京都や世田谷区の災害ボランティアコーディネーター、各種防災講演の講師、被災地支援ボランティア活動（中越地震、東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨災害、能登半島地震など）、報道取材対応などで活動している。



磯方 直美 氏

TEAM石津防災士代表／
岐阜県海津市南濃地区民生委員児童委員協議会会長

民生委員を引受けた時に高齢者への配慮として防災を学び始めNPO法人海津市防災士会に入会。福祉と防災は切っても切れない関係である事、高齢者が避難してくれるためにはどうすべきかの問題に行き詰まり「ぎふ防災・減災センター」の門をたたく。師匠より、減災への道のりは先ず「地域」であることに気づかされ、地元で共に活動してくれる仲間を募り「TEAM石津防災士」を結成。地域の防災力向上こそ災害へ備える一歩とし活動をしている。



高槻 直樹 氏

倉敷市 情報政策室主幹

平成15年倉敷市役所入庁。現、同市役所情報政策室主幹。平成30年7月豪雨災害では、避難所運営の初動対応から退所後の生活支援に至るまで、関係機関と連携しながら実務にあたる。現在は全国の自治体職員向け研修の講師を務めるなど、自身の経験や教訓を伝えることで後進育成を支援する。令和7年度より内閣府主催の災害時物資に関する有識者会議委員。「防災と福祉の連携」をモットーに、現場の視点に立った災害対応のあり方を模索し続けている。

参加問い合わせ・申込窓口　申込締切：11月13日(金)

二次元コード又はURLからお申し込みください。 https://logoform.jp/f/Virh3

和歌山県 伊都振興局 地域づくり部 総務県民課
電　話：0736-34-1700
メール：e1303111@pref.wakayama.lg.jp



ご記入いただいた申込情報は、本研修の運営にのみ使用いたします。
なお、当日は参加者名簿（氏名・所属のみ記載）を配布いたします。
お申し込みをもって、本個人情報の取り扱いにご同意いただいたものとみなします。

研修に関するお問い合わせ先

内閣府業務受託事業者　避難生活支援リーダー／サポーター研修事務局
株式会社ダイナックス都市環境研究所（担当：江沢、橋本）
TEL：03-5402-5355　MAIL: leader-supporter@dynax-eco.com